

こんな事業に使われます

建設事業の主なもの

土木費 2億3,515万円	道路側溝改修事業、道路新設改良工事、排水路改修工事、小杉農村公園トイレ設置工事、街路灯・歩道照明取替工事、街なみ環境整備事業
教育費 1億1,126万円	小学校外壁及び体育館改修工事、小学校コンピュータ室冷房設置工事、給食室自動食器洗浄機及び回転釜取替工事、ナイター照明安全器収納函取付工事
農林水産業費 4,088万円	農地防災排水対策事業、県管かんがい排水対策事業、地盤沈下対策事業、古阿賀地区湛水防除事業
民生費 1,459万円	中央・双葉・小杉保育園給食室エアコン設置工事、双葉保育園改修工事
総務費 413万円	役場庁舎施設改修工事、カーブミラー・区画線・停止線・ガードレール設置工事、防犯灯設置工事
消防費 350万円	消火栓新設工事
衛生費 257万円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金
労働費 183万円	勤労者体育センター床改装工事

◆◆平成14年度 重点事業◆◆

- 1 分権社会に対応した行政体制の整備**
(市町村合併協議の推進、IT関連施策の推進)
- 2 新たなまちづくりの推進**
(街なみ環境整備事業、国県道とのアクセス道路整備促進)
- 3 生活環境整備の推進**
(資源リサイクルの推進、雨水等排水対策)
- 4 保健福祉事業の推進**
(健康づくりの推進、児童・老人の福祉対策)
- 5 農業・商工業の振興**
(生産調整推進対策事業、商工業振興事業)
- 6 教育・文化の振興**
(生涯学習の推進、小学校校舎の改修整備、小中学生海外研修事業)

平成14年度予算一口メモ

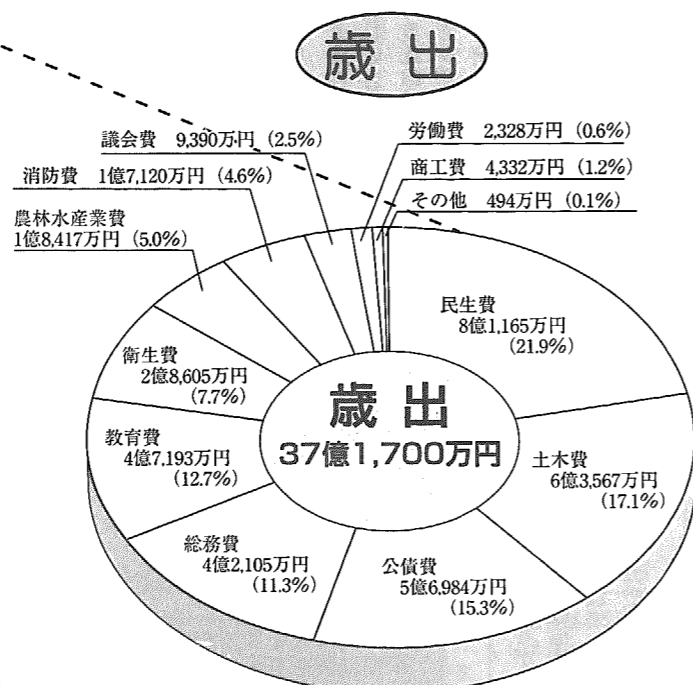
平成14年2月末現在の人口11,228人 () は前年度

- 住民1人当たりの町税収入
8万8,798円 (8万9,219円)
- 住民1人当たりに使われるお金
33万1,047円 (34万1,941円)
- 住民1人当たりの借入金
2万7,111円 (2万1,881円)
- 住民1人当たりの返済金
5万752円 (5万634円)

歳出予算の性質別内訳

経常的 経費 (75.5%)	人件費	10億1,078万円
	公債費	5億7,986万円
	物件費	5億3,698万円
	補助費等	4億4,361万円
	扶助費	2億811万円
	維持補修費	2,728万円
	計	28億662万円
投資的 経費 (11.8%)	建設事業費	4億4,042万円
	繰出金	4億4,200万円
その他 (12.6%)	投資及び 出資金貸付金	2,397万円
	積立金	150万円
	予備費	249万円
	計	4億6,996万円

歳出 37億1,700万円



平成14年度予算の主な事業について、広報5月

平成14年度一般会計予算 37億1,700万円

平成14年度施政方針



浅見 町長

町議会3月定例会で、平成14年度の予算が可決されました。一般会計は37億1,700万円、前年度比5、700万円の減。特別会計は、国民健康保険・老人保健・介護保険・水道事業・下水道事業・家畜診療所の6会計で、合計29億2,127万円で、前年度比6、207万円の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた総予算規模は、66億3、827万円になります。

◆市町村合併

環日本海交流拠点として注目される新潟都市圏の将来は、産業、経済、文化、教育の拠点として期待が寄せられ、政令指定都市実現が地域の発展と住民生活向上のため必須であると確信しております。当町においては、横越町合併調査委員会の答申を受け、亀田町と共に新潟市との任意合併協議会を設置し、現在、一市二町で住民福祉サービスや各種事務事業の比較検討を進めております。

◆教育

活力に満ちた地域づくりはまず人づくりであり、教育・文化の振興こそ未来を創る礎であります。町では中学校改築を行い、本年度完工致します。国際化に対応するため、外国青年による英語指導、4月から始まる小中

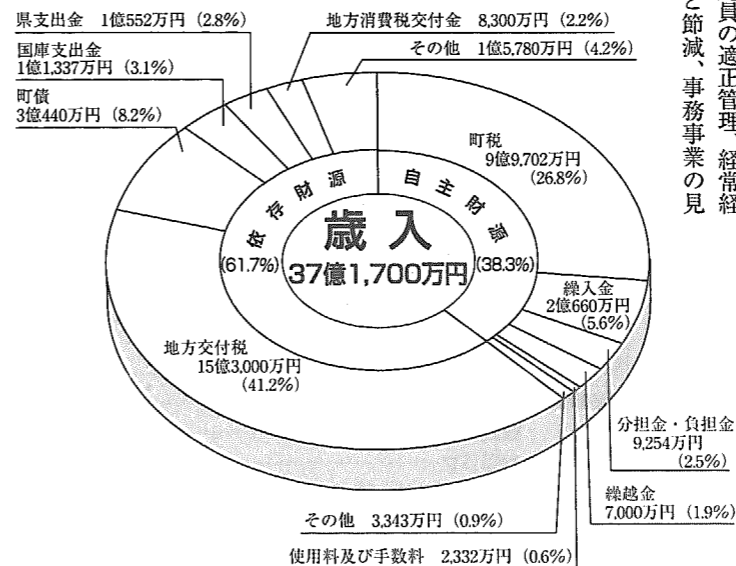
◆福祉・子育て

高齢化社会を迎え、高齢者の生きがいと健康づくりが重要な課題となっています。老後を安心して暮らせる社会を目指し、老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等の施設整備、介護保険制度導入を図ってきました。一方、国民健康保険運営は年々医療費の増高等で厳しい状況であります。住民医療の充実に努めます。また、少子化が社会的課題となる中、子どもたちが健やかに育ち、若い父母の方々が安心して産み育てられるよう、子育て支援の一つとして、休日保育を実施するとともに、療育教室や学童保育所等の充実にも努めて参ります。

◆環境

住民の生命と暮らしを守り、安全で快適な生活環境の整備は、

歳入



行政最大の課題であります。防災・防犯・交通事故防止はもちろんで、ゴミの分別収集・資源ゴミ回収の強化、生ゴミの自家処理等、ゴミ減量化を一層進めて資源循環型社会を推進します。阿賀野川・小阿賀野川を含む豊かな自然を守り、生活と産業と自然のバランスのとれた環境整備を図って参ります。

◆財政

地方財政は、税収入や地方交付税が減収する中で、公債費の累増等により大変厳しい状況にあります。定員の適正管理、経常経費の抑制と節減、事務事業の見直しを図って参ります。

直しを図りながら、事業予算の厳正な執行に努めて参ります。また、年々増加する町税の滞納税額についても憂慮しており、その滞納整理の着実な実施を図り、自主財源の確保に努めて参ります。町民みなさまの理解と協力を得ながら積極的に施策を展開し、「緑豊かないきいきとした町よこし」の創造のため、新世紀にふさわしい町づくりをめざし、全力をあげて参る所存であります。(3月定例会施政方針より)

号・6月号で、写真や図を折り込んで紹介します。